

AIが観光業に与える影響

宮城県仙台第三高等学校 30班

1. 背景と目的

背景

人工智能と呼ばれる近年急速に発達してきているAIと観光業という組み合わせがどのような結果、影響をもたらすのか興味を持った。また、観光という私達に身近なテーマの中で人工智能がどのような関わり方をしてくるのか、これからの私達の生活に深く関わってくるのではないかと考えた。

目的

AIの導入により観光業でのより安定的な利益を得られるようにする。

2 先行研究と調査方法

{実施項目}
企業訪問、インタビュー

先行研究

- ①インバウンド対応、人件費削減、高稼働、等の目的から現在、ロボットを駆使したオペレーション機能を導入した施設がある。
- ②AI搭載型ロボットが人をもてなすためにはそのロボットのデザインを親近感のあるものにするのが良い。
- ③AIは表情や感情機能がないロボットのもてなししかできなく、人的もてなしのように受け手の心や知を揺さぶることはできない。

先行研究からおもてなしが探究課題となることを知った



おもてなしは人と人で成り立つもの



AIがこの課題をどう解決するのが良いか調査する

- ・観光業とAIについて、観光業の働き手からの意見を聞くことによって、考察を深める。

3. 結果・考察

秋保ホテル瑞鳳にインタビューして得た案として.....

裏の仕事はAIが担当
表の仕事は人間が担当



仕事の効率を上げ、おもてなしの質を維持できる！

デジタル化という部分でAIを活用し、売上の元となるリピーターの増加につながる。

AIの利用が有効な例

ナンバープレートの読み取り、新規、リピーターの把握

ロボットと人の受付

混雑状況の提示

修学旅行で得たこと

- AIについての理解を深めるため、大阪科学技術館に行ってきました。そこでAIと科学技術の関係性について学び観光業の安定的な利益には科学技術の活用が不可欠だとわかりました。修学旅行では科学技術という面に視野を広げることができました。

4. まとめ

おもてなしは人と人とで成り立つものであり、AIだけが観光業を担うことは難しいことである。人間がおもてなしを担当し、AIが裏の仕事を担当するという分業を行うことで仕事の効率を上げ、おもてなしの質を維持できることが分かった。おもてなしの質を維持することで、売上のもととなるリピーターの増加に繋がり、安定的な利益を得ることができ。また修学旅行ではAIと近い存在にある科学技術に目を向けた。科学技術の活用が観光業には不可欠である気づくことができた。今後の観光業の発展にAiと科学技術がどのように関わるのか実際に見ていきたいところである。

参考文献・協力企業

仙台秋保温泉・ホテル瑞鳳

<https://www.siu.ac.jp/assets/pdf/5be92e8771b9114068efa696a5ab4b33.pdf>